

## 感染症対策に関する指針

特別養護老人ホームりんどう  
グループホーム黒川

### 1. 目的

当施設は、感染予防に努めるとともに、感染症が発生した場合は施設内まん延を防止するための措置を講じ、入居者・利用者が安全で快適なサービス提供を受けられるようにこの「感染症対策に関する指針」を定める。

### 2. 基本方針

- ① 施設長をはじめ、全職員が一丸となって感染症の発生及びまん延の防止に努める。
- ② 国内や県内、地域の感染状況をよく把握し、全職員が感染症に罹患しない対策を講じる。
- ③ 感染症が発生した場合は、速やかに連絡・報告を行い、施設内のまん延を最小限に抑える対策を実施する。
- ④ 指針や委員会での決定事項については、速やかに全職員に周知徹底させる。

### 3. 対策を実施する主な感染症

- ・ インフルエンザウイルス
- ・ 胃腸炎ウイルス（ノロウイルス・ロタウイルス等）
- ・ 肝炎ウイルス（A型～E型）
- ・ 食中毒（黄色ブドウ球菌・O157等）
- ・ 国内でパンデミックが発生した新型コロナウイルス（COVID-19等）

### 4. 基本方針を達成するための取り組み

- ① 委員会を設置し、その他の会議や申し送り等にて感染症対策について検討し、感染症が発生しない、また発生しても施設内にまん延しない対策を全職員が協力して実施する。
- ② 国内や県内、地域の感染状況をニュースやホームページ等で良く把握し、また嘱託医からの情報を元に、まずは職員一人ひとりが感染症に罹患しない対策を講じる。また、感染症対策マニュアルに則り、平常時・感染発生初期・感染まん延の段階に応じて予防対策を実施し、入居者・利用者へ感染させないように努める。
- ③ 職員に感染症の症状が認められた際は速やかに施設長へ報告し、感染症の疑いがある場合は出勤停止又は退勤する。また、入居者・利用者に感染症の疑いがある場合は、感染症対策マニュアルに則り対応を行い、他の入居者・利用者に感染がまん延しないように努める。

④指針に記載されている事項や委員会で決定した内容については速やかに全職員へ周知される。また、感染症まん延の状況について委員会やその他の会議で検討し、それらの対策を速やかに各部署や各担当者に伝達し、実施させる。

## 5. 委員会の設置

基本方針を達成するため、当施設は以下のように感染対策委員会を設置する。

### ①委員会の構成員

施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護師、栄養士、ユニット職員とし、施設長を責任者とする。

ただし、委員会の協議事項等の状況に応じ、部単位での開催（小委員会）とする事や職種及び人数を変更することもできる。

### ②開催頻度

基本的に定例会として3ヶ月に1回とするが、必要に応じて開催頻度を増やすことを可能とする。

### ③検討内容

- ・施設内感染症対策の立案、検証、修正
- ・各部署での感染症対策の実施状況の把握と評価
- ・職員への感染症対策の教育・研修内容の検討
- ・感染症発生時の対応の分析と今後の検討

## 6. 感染症対策マニュアル及び事業継続計画（BCP）の整備

### ・感染症対策マニュアル

感染症発生及びまん延防止するため、対応の詳細を記載したマニュアルを作成し、定期的に計画の見直しを行う。特に毎年流行する「インフルエンザウイルス」や「ノロウイルス」については対策をより強固なものとしていく。

### ・事業継続計画（BCP）

新型インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等、未知なる感染症が国内に流行した又は、施設内でまん延が起こった場合であっても、入居者・利用者が安全・安心してサービスの提供が受けられるように事業継続計画を作成し、定期的に見直しを行う。

## 7. 感染症予防の徹底

インフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルス等の平常時対策として、以下を徹底する。なお、地域感染まん延時等の対策については、感染症マニュアルを参照する。

### ①職員の標準予防策の徹底

県内や地域に感染症発生情報が無い場合でも、以下の標準予防策を実施する。

- ・ 出退勤時の手洗い、うがい、手指消毒、出勤時検温
- ・ 勤務中のマスク着用
- ・ 1 ケア毎の手洗い
- ・ 体調不良時の早期報告、出勤停止
- ・ ワクチン接種

## ②入居者、利用者への呼びかけ

入居者、利用者へも感染症予防の為に以下のお願いをする。ただし体調等の状況で不可能な場合は、無理に行う事はしない。

- ・ 飲食時の手洗い、うがい、手指消毒
- ・ 共有スペースでのマスクの着用
- ・ ワクチン接種

## ③ご家族及び来訪者への呼びかけ

- ・ 来訪時の手洗い、うがい、手指消毒、検温、来訪者カードへの記入
- ・ 体調不良時の入館制限

## 8. 感染まん延防止の徹底

職員又は入居者・利用者が間瀬賞に罹患した場合、施設内のまん延を防ぐため、以下の対策を行う。なお、詳細については、感染対策マニュアルを参照する。

- ①職員の規定された日数の出勤停止
- ②嘱託医と相談し、必要であれば所管保健所へ連絡する。
- ③関係機関へ連絡し、必要であれば、法人内養護老人ホームひめさゆりへ応援要請を行う。

## 9. 職員に対する研修・教育

職員に対する感染症対策の為に研修を以下の内容で実施する。

- ①感染症発生及びまん延防止の基本の習得や感染症対策マニュアルの内容確認のため、研修を実施する。
- ②開催頻度を特に定めないが、冬季や感染症流行期前に実施して、感染症予防の知識普及・啓発を促す。
- ③新型インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等、未知なる新型の感染症が国内に流行している場合は、上記期間に関わらず、研修や会議等で対策の知識を高める。

## 10. 指針の閲覧

本指針は入居者、利用者及び家族等が希望があった場合にすぐに閲覧できるようにしておく。